

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム彩りの泉

目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1 35	職員の入れ替わりが激しく、業務中心の伝達となり、理念の共有までに至っていなかった。	入居者にとっても職員にとっても居場所となる施設になる。	・仲間で集い趣味を共有できるサークルや場所を作る。 ・ケアプラン作成に居室担当が直接関わることで達成感を共有する。	12ヶ月
2	3	コロナ化禍で閉鎖的となり、地域の一員としての役割が果たせていなかった。	地域のハブ的役割として認識してもらえるような施設になる。	・AEDの設置があることを地域に提示する。 ・職員が心肺蘇生の研修を受ける。 ・活動報告書の発信をし、存在を認識してもらう。	24ヶ月
3	6 7 13 14	コロナ化禍で外部研修に参加できていない。	職員のスキルアップを図る。	・メディバスアカデミー介護のオンラインによる動画研修の実施をする。 ・2か月に1度の内部研修の実施をする。 ・スキルアップ研修へのバックアップを行う。	12ヶ月
4	10 11	全体の意見を聞くシステムがない。	入居者や家族、職員の意見の反映ができる。	・誰でも入れてもらえる「ご意見箱」を設置し、意見の吸い上げをおこなう。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。